

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17100	シティプロモーション推進事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	会計	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	款	02:総務費
	施策の方向	04:移住交流の促進	項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目	02:広報活動費	
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度 主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	本市が、「暮らしたいまち(定住・移住人口の増加)」、「訪れたいまち(交流人口の増加)」として選ばれるため、市民等のまちに対する愛着や誇りの醸成を基礎として、本市の魅力を発掘・磨き上げ、効果的な情報発信を行うことで、まちのイメージを向上させる。
概要		市シティプロモーション戦略で設定したキャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」やロゴマークを使用し、様々な広報媒体を効果的に活用、連動させた情報発信を行う。平成28年度に構築したシティプロモーション専用サイトの各種コンテンツ(イベント・ニュース情報、ライフスタイルインタビュー、フリップサポーター等)の更新・充実を図る。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	様々な広報媒体を活用した情報発信 ・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 シティプロモーション専用サイトの管理 ・コンテンツの更新 シティプロモーション戦略の検証、見直し ・有識者会議の開催 ・市民座談会の開催 シティプロモーション動画の制作 職員研修の実施	様々な広報媒体を活用した情報発信 ・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 シティプロモーション専用サイトの管理 ・コンテンツの更新 シティプロモーション動画の制作 職員研修の実施	様々な広報媒体を活用した情報発信 ・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 シティプロモーション専用サイトの管理 ・コンテンツの更新 シティプロモーション動画の制作 職員研修の実施	
	年度実績	○シティプロモーション専用サイトの管理 ・イベント情報:698件、ニュース情報:143件 ・フリップサポーター:16組追加(延べ55組) ○シティプロモーション戦略の検証 ・かめやま若者未来会議での意見聴取 ・総括評価と今後の方向性の決定 ○シティプロモーションブランドの啓発 ・動画制作:1回「関宿と関の山車」 ○職員研修の実施:2回			
事業の計画・実績	計画額	事業費	2,900千円	2,600千円	2,600千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	2,900千円	2,600千円	2,600千円	
	予算額	事業費	2,857千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	2,857千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	2,321千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	2,321千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	3,925千円	0千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.50			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		6,246千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	シティブロモーション専用サイトコンテンツ更新件数	計画値	550件/80件	570件/85件	600件/90件
		イベント情報(上段)、ニュース情報(下段)の掲載件数(年間延べ件数)	実績値	698件/143件		
			単位	件	件	件
	名称	シティブロモーション専用サイトへの訪問回数	計画値	100,000	100,000	100,000
		「住めば、ゆうゆう。」専用サイト全体へのアクセス回数(年間延べ回数)	実績値	78,613		
			単位	回	回	回
名称	職員研修の開催回数	計画値	2	2	2	
	新規採用職員向け研修および一般職員向け研修の開催回数(年間延べ回数)	実績値	2			
		単位	回	回	回	

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>シティブロモーション専用サイトを継続して定期更新し、まちの魅力や市のイベント情報などを発信する必要がある。専用サイトの更新や動画の制作に市民や事業所などを巻き込み、自らが魅力発信の担い手であることを意識してもらう取組が必要である。専用サイトだけでなく、各種広報媒体を連動させ、効果的な情報発信に取り組む必要がある。話題性や新鮮さを意識した報道機関への情報提供が必要である。シティブロモーション戦略の重点プロモーション期間が次年度で終了するため、戦略を検証する必要がある。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>まちの魅力や市のイベント情報等についてシティブロモーション専用サイトの定期更新を行い、サイトアクセス数の増加に取り組んだ。また、市民や市民活動団体の協力を呼びかけ、まちの魅力発信に繋がる動画を制作した。一方で、各種広報媒体の特徴を意識して、それを連動させた効果的な情報発信を行った。また、重点プロモーションのメインターゲットエリアである津市・四日市市・鈴鹿市と本市との間での人口移動などを調査するとともに、外部の意見を聴取し、戦略の検証を行った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>年間を通じて広報の発行時期に合わせた部署内ミーティングを行い、シティブロモーション専用サイトのイベントやニュース情報を更新するほか、子育てイベント等に参加し、亀山の良いと思うところを紹介してもらった。また、市民や市民活動団体の協力を呼びかけ、まちの魅力発信に繋がる動画を制作した。一方で、20代～40代の四日市市、鈴鹿市、津市との人口移動のデータ分析を行うとともに、かめやま若者未来会議において、市の魅力や専用サイトについて意見聴取を行った。職員の意識啓発として、新規採用職員と各部署担当者を対象とした研修を開催した。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>目標値の8割近いサイトアクセス数を得ることができ、市の催しや行事、各種制度を広く市民に周知することができたほか、子育て環境や伝統行事、人同士のつながり等が本市の魅力であることをアピールしていただくことで、信頼性の高い情報発信を行うことができた。特集番組へ市民や市民活動団体などが出演していただくことで、まちへの愛着や誇りの醸成に繋げることができた。一方、シティブロモーション戦略の総括評価を行い、亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の2年間延長も考慮し、引き続き本市と近隣の若者世代をターゲットとした重点プロモーションに取り組むことを方向付けた。職員研修を通じて、職員自らがまちの魅力のプロモーターであるという意識を高めることができた。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>個性的な亀山暮らしを紹介するライフスタイル動画を撮影できなかったため、取材先の選定とコンテンツの更新を行うとともに、イベント情報やニュース情報を定期更新する必要がある。また、動画の制作に市民や事業所などを巻き込み、自らが魅力発信の担い手であることを意識してもらう取組が必要である。一方で、各種広報媒体を連動させ、効果的な情報発信に取り組む必要がある。さらに、話題性や新鮮さを意識した報道機関への情報提供が必要である。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>各種情報の把握に努めシティブロモーション専用サイトの定期更新を行い、サイトアクセス数の増加に取り組むほか、イベント訪問やCATV収録時などにライフスタイル動画の取材先の情報を入手する。市民や市民活動団体の協力を呼びかけ、まちの魅力発信につながる動画を制作する。CATV事業で制作した特集動画を活用するなど、各種広報媒体の特徴を意識して、それを連動させた効果的な情報発信を行う。報道機関へ話題性や新鮮さを意識した情報の投げ込みを行う。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>シティブロモーション活動を通じて、市民のまちへの愛着を醸成することができる。また、市民から市民への情報や魅力の伝達が期待できる。さらには、新聞等のメディアに市の取り組みやまちの魅力が取り上げられることで、本市の良質なイメージが市内外に発信できる。</p>	
	対応時期	令和2年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,857千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	2,857千円
	令和2年度への繰越額	千円